ŌMIYA NEWS

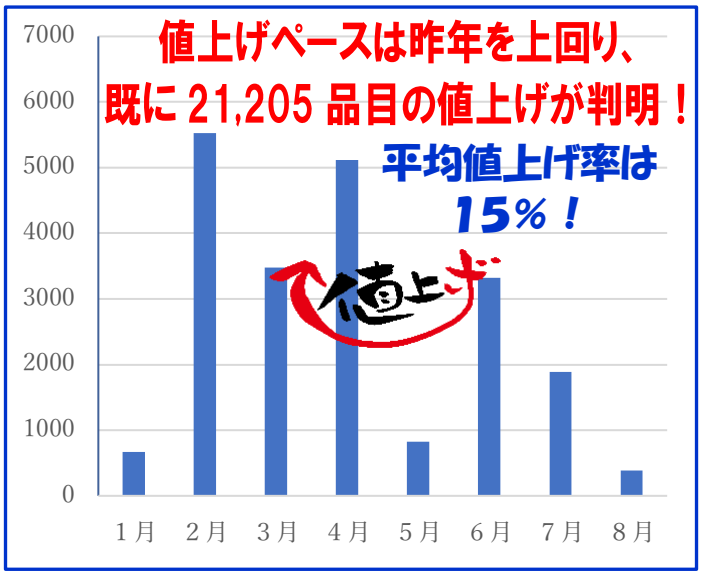
No.234　2023年5月9日　JR東労組大宮地本

「コロナ以降」も値上げラッシュは止まらない！

生活実感は厳しくなるばかり！ 今年も値上げの夏がやってくる！

今年の食品値上げは既に2万品目を突破！平均値上げ率は15%に！

今年の食品値上げ品目数～



～主な食品の値上げ動向（分野別）～

	加工食品	調味料	酒・飲料	菓子	乳製品
品目数	9998	5188	2905	1452	868
値上率	16%	10%	12%	7%	8%
原因	原料・物流費・光熱費	原料・包装材費	円安・包装材費	原料・物流費・光熱費	原料・飼料・包装材
品目	冷凍食品・缶詰・カップ麺	醤油・味噌・香辛料・だし	ワイン・発泡酒・飲料	米菓・アイス・チョコ	牛乳・ヨーグルト粉ミルク

調査結果によると、今年の食品値上げは昨年を上回るペースで進み、既に21205品目の値上げが判明し、平均値上げ率は15%に達しています。

内容面では、原材料費や物流コスト増大の他、今年は人件費や光熱費の上昇等の新たなコスト増加を価格転嫁する姿勢が目立ち、幅広い分野の値上げ要因となっています。（帝国データバンクの調査より引用）

そして値上げは今後も続き、秋には3万品目に達する可能性もあります！

さらに今後も値上げは続き、6月はカップ麺などを中心に3300品目が値上げ予定。7月以降も輸入小麦や生乳価格・電気代等の上昇を背景に2000品目以上が値上げ対象で、6月以降も5596品目が値上げされ、秋には3万品目を超える可能性もあります！

賃上げを実現しなければ私たちの生活実感は厳しくなる一方です!!
夏季手当獲得のたたかいに向けて全職場から議論を創り出そう!!

ŌMIYA NEWS

No.230　2023年4月30日　JR東労組大宮地本

2022年度末決算も増収増益で、3年振りの黒字転換を実現！！
その一方で労働実感は高まるばかり！　会社は今こそ苦闘に報いるべきだ！

♦2022年度末決算は3年振りに黒字転換！

単体の営業収益は3413億円の増加で前年比124%！
うち運輸収入は3185億円の増加で前年比128%！

全てのセグメントが増収増益で3期振りに黒字転換!!

連結の営業収益は4265億円の増加で前年比 121%！

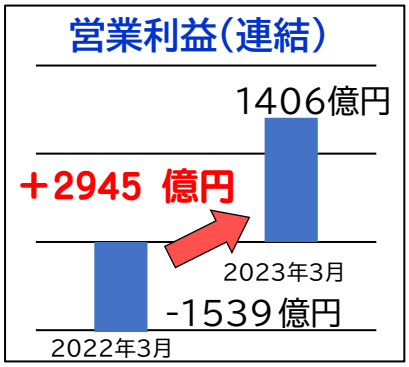
運輸、流通・サービス、不動産・ホテル、「その他」の全てのセグメントが増収増益!!

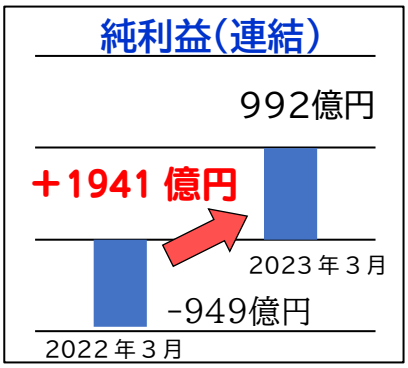
♦コロナ影響からの回復により、4340億円もの増収を達成！

JR 運輸収入	＋3200億円
流通・サービス	＋510億円
不動産・ホテル	＋390億円

安全輸送の確保と増収努力により、コロナからの回復を実現し、年度末決算も黒字転換!!

♦その結果、利益も大幅に増加しています！





※決算短信を元に作成

営業利益は昨年比 2945 億円、純利益は1941 億円も増加！

さらに今年度は増収増益を見込み、株主配当を増配する方針も発表!!（年間配当 110 円）

職場で苦闘する私たちが会社施策を担い、安全輸送の確保に努めた結果、年度末決算も増収増益で黒字化を達成!!
会社は夏季手当で今こそ私たちの苦闘に報いるべきだ!!
職場議論のさらなる強化で夏季手当満額獲得のたたかいを創り出そう！

ŌMIYA NEWS

No.236　2023年5月12日 JR東労組大宮地本

ゴールデンウイーク輸送も４月の鉄道営業収入も好調！

厳しい労働実感の中で安全輸送を確保し、順調な業績を創り出したのは職場で働く私たちだ！

～ゴールデンウイーク期間のご利用状況～

主要 16 区間のご利用状況

	2023 年	2022 年	前年比	2018 年比
下り	190 万人	135 万人	141%	91%
上り	188 万人	136 万人	138%	91%
計	378 万人	271 万人	140%	91%

主要駅のご利用状況

駅名	2023 年	前年比	2018 比
東京	172 万人	129%	107%
舞浜	44 万人	129%	85%
成田空港	4 万人	176%	118%

近距離のご利用状況

6092 万人

前年比 114%

2018 年比 95%

4月の鉄道営業収入

定期・定期外合わせ

前年比 129%

2018 年比 88%

先日ゴールデンウイーク期間のご利用状況が発表されました。主要16区間のご利用は昨年比140%と急増し、近距離のご利用も昨年比114%と好調です。コロナ前と比べても9割以上の実績であり、東京駅や成田空港駅では既にコロナ前を上回る実績を達成しています！　また、4月の鉄道営業収入は前年比129%を達成し、収入面も着実に増加しています。

これは、厳しい労働実感の一方で急拡大するお客さまに対応し、安全・サービスの確保に努めてきた職場の苦闘の成果です！

ご利用が拡大する中、職場で安全・サービスの確保に努め、増収を実現！

厳しい労働実感の一方、ご利用はコロナ前の水準に回復し増収も実現！

職場の努力に報いる夏季手当獲得を求めて、たたかいを創り出そう！

ŌMIYA NEWS

No.237　2023年5月15日　JR東労組大宮地本

JR東労組 申13号

2023年度 夏季手当

コロナ禍において奮闘を続けてきた
組合員・社員に対する特別手当として
全従業員（出向者含む）対象に

3.0ヶ月＆一律10万円 要求!!

この3年間コロナ禍で奮闘してきた組合員・
社員に会社は満額回答で報いるべきだ！

【要　求】

１．要求額	基準内賃金の３．０ヶ月 全従業員(出向者含む)対象１０万円
２．回　答	２０２３年６月　９日まで
３．支　払	２０２３年６月３０日まで

ŌMIYA NEWS
No.239　2023年5月17日　JR東労組大宮地本

JR東労組 申13号
「夏季手当等に関する申し入れ」

組合員・社員アンケートを実施します!

アンケート方法

①ＪＲ東労組ＨＰからアンケートに答える
②右のＱＲコードを携帯電話で撮影し、
　アンケートを立ち上げる
③データでこの情報を
　ご覧の方はこちら

ここをクリックまたはタップ！

※ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

要求実現のために働く者の「本音の声」を集め、東労組の必要性を議論しよう!!

ŌMIYA NEWS

No.240　2023 年5月26日　JR 東労組大宮地本

物価上昇の一方で賃金はこんなに減少! そして家計は厳しくなるばかり!

もう我慢の限界だ！低額相場形成を許さず夏季手当満額回答を勝ち取ろう！

◆コロナ以降、私たちの賃金はこんなに減少！

期末手当の推移

	夏季手当	年末手当
2019 年	2.91 カ月	3.18 カ月
2020年	2.4 カ月	2.2 カ月
2021年	2.0 カ月	2.0 カ月
2022年	2.3 カ月	2.4 カ月

期末手当削減と定昇カットで大幅減少！

コロナ前と比較して期末手当は累計で4.97カ月、平均支給額は累計で約170万円も減少！さらに、2021年度の定昇カットの影響で、約11万が減額に！

2019 年比で累計180万円以上も賃金が減少！

◆一方、物価はさらに上昇！　実質賃金は大きく低下！

4月の消費者物価指数（生鮮品除く）は前年同月比3.4%上昇、特に食品は9%も上昇し46年ぶりの高水準！2020年との比較では4.8%も上昇しています！

物価高の影響で実質賃金も大きく低下し、厚労省の統計では、2022年度の実質賃金は1.8%も減少し、消費増税・リーマンショックに次ぐ規模です！（新聞報道より）

物価は大きく上昇！

実質賃金は大きく低下！

もう我慢の限界だ！

家計負担はさらに増加し、政府の物価対策を考慮しても2年間で家計負担が13万6000円も増えるとの試算もあります。（みずほリサーチ＆テクノロジーズの試算）

また、既にお知らせの通り今後も値上げが相次ぎ、食品値上げは秋には3万品目を超える可能性もあります！（OMIYA NEWS No.234 を参照）

そして来月には電気代の値上げが行われます！（14～42%値上げ）

賃上げを実現しなければ私たちの生活実感は厳しくなる一方です!!

夏季手当は「東証プライム平均 2.48」で、本当に良いのでしょうか!?

私たちには夏季手当満額獲得が絶対に必要です！

低額相場形成を許さず、満額回答実現を求め職場でたたかいを創り出そう!!

ŌMIYA NEWS

No.243　2023年6月1日　JR東労組大宮地本

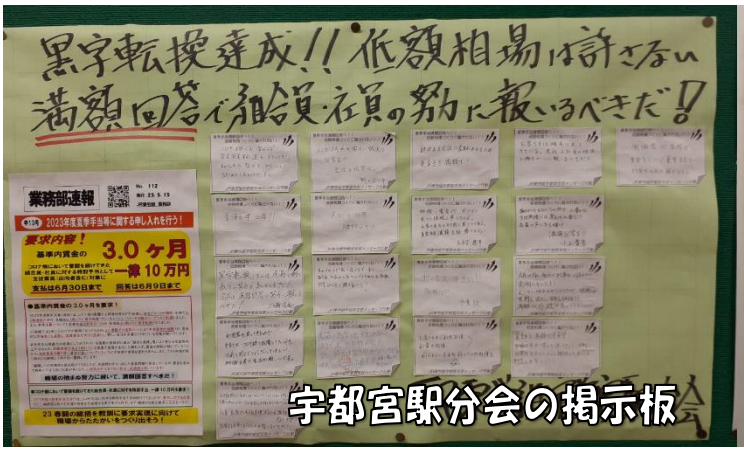
満額回答勝ち取るため職場からたたかうぞ！

【夏季手当第2回目交渉を迎え、更なるたたかいを展開中！】

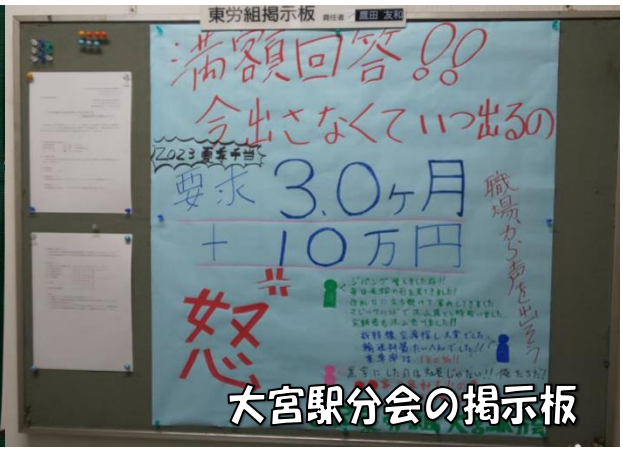
宮総支部での交渉報告集会

大宮駅分会での座談会

各分会で職場集会・対話行動を開催し、多くの仲間が結集！



宇都宮駅分会の掲示板



大宮駅分会の掲示板

掲示板を活用し、怒りの声を目に見える形にしています！

３期ぶりの黒字に回復した中、職場の組合員・未加入者から**会社に対する不満・失望と生活に対する不安の声が多く出されています！**

「夏季手当は業績連動で決まるものですよね？**黒字なのに出さないのはおかしくないですか？**」（未加入者の声）

「今年になり会社は設備投資に予算をかけている。設備投資ばかりに力入れて、**人に投資しないと社員は離れるぞ！**」（組合員の声）

今こそ職場のたたかいで満額回答勝ち取るぞ！

ŌMIYA NEWS

No.244　2023年6月1日　JR東労組大宮地本

組合員・未加入者は怒っている！

夏季手当 満額回答を勝ち取るぞ!!

～とある職場における組合員・未加入者の声～

運輸業はまだ赤字だと会社は言うが、鉄道業収入はコロナ禍から3200億円増収！
回復率では鉄道業収入が一番大きく、それがなければ黒字化はなかった。

コロナからの回復を担い大幅増収を実現したのは私たちなのに、
その努力が「赤字」の一言で片づけられている。納得がいかない！

駅は駅ナカも含めて混雑。帰省だけでなくインバウンド利用も目立ち、
大変好調で業績回復は明らか。会社は社員の努力に報いるべきだ！

業績回復したのにコロナ前に
戻さないならいつ出すのか！
それでは若手はどんどん退職する！
残る社員もモチベーションは
上がらない。会社の発展も社員・
家族の幸福を実現できるはずはない。

会社施策の推進＝社員・
家族の幸福と言うので
あれば、職場で苦労して
施策を担っている
我々に対し満額回答で
報いるべきだ！

扶養手当の増額5000円では物価上昇に全く追いつかない！
社員の生活を考慮するなら賃上げと満額回答で報いるべき。

会社は「単体の営業利益が目標に満たない」ことを「出さない理由」としているようだが、
「目標に満たない」のであれば、まずは経営陣が責任を取るべき！
「目標に満たない」ことを理由に夏季手当を出し渋るのであれば、絶対に許せない！

業務の負担は増大している。また単に業務量の問題だけでなく、精神面でも気を遣うことが増え
疲労が増している。しかしこの間賃上げが抑えられ、労働実感に対して全く努力に報いていない！

物価上昇で生活は本当に厳しくなっている。単に我慢すればよいレベルではない！
この状況でも夏季手当をコロナ前に戻さないなら怒りしかない！

今こそ職場のたたかいで満額回答勝ち取るぞ！

ŌMIYA NEWS

No.247　2023年　6月6日　JR東労組大宮地本

支給水準について「総合的に判断」した結果でしょうか!?

「目標未達」としつつも、役員の業績連動報酬は「コロナ前の水準」を確保!!
私たちの夏季手当も満額回答を勝ち取り「コロナ前の水準」を実現しよう!!

会社は夏季手当について、「黒字を確保出来たが、単体の営業利益が目標に届かなかったことは冷静に受け止める必要がある」「コロナ前の水準に戻る状況にない。順風満帆と言い切れない」「支給水準は総合的に判断する必要がある」と交渉で述べていますが、その一方で、2022年度の役員報酬の「業績連動報酬」部分は既に「コロナ前の水準」を確保しています。

～役員報酬の金額の推移～

※取締役1人当たりの額
社外役員を除く

（役員報酬の総額＝基本報酬＋業績連動報酬）

◆2018年度（コロナ前）

報酬のうち業績連動報酬は15名で１億7200万円
＝**1人当たり約1146万円**
基本報酬を加えた報酬総額は15名で6億7600万円
＝**1人当たり約4506万円**

コロナ前もかなりの高水準！

◆2021年度

業績連動報酬は11名で 4900 万円
＝1人当たり約445万円
報酬総額は11名で3億9100万円
＝1人当たり約3554万円

20～21 年度はコロナの影響により、業績連動部分は減少しましたが…

◆2022年度

業績連動報酬は9名で1億1300万円
＝**1人当たり約1255万円**
報酬総額は監査役1名を含む10名で4億7600万円
＝**取締役1人当たり4760万円以上の見通し**
（詳細は「有価証券報告書」発行後、判明見込み）

22 年度は既にコロナ前の水準に戻っている!?

※18・21年度は「有価証券報告書」、22年度は「定時株主総会招集通知」を元に算出した金額であり実際の額とは異なります。自主返納分を含む。

役員報酬は既にコロナ前の水準を確保！「足元の状況と見通し」もコロナ前の水準に回復!!
厳しい生活実感・労働実感の中で働く私たちの夏季手当もコロナ前の水準を確保すべきだ!

職場からさらなるたたかいを創り出し、夏季手当要求満額回答を勝ち取ろう！

ŌMIYA NEWS

No.248　2023年6月6日　JR東労組大宮地本

満額回答勝ち取るため職場からたたかうぞ！

【夏季手当回答指定日まで、更なるたたかいを展開中！】

多くの職場で、多くの仲間が本部へ激励に行っています！

多くの職場で対話・集会を開催しています！

今こそ職場のたたかいで満額回答勝ち取るぞ！

ŌMIYA NEWS

No.249 2023年 6月7日　JR東労組大宮地本

申13号　第3回

2023年度夏季手当等に関する申し入れ

会社回答が出される!!

基準内賃金 **2.5ヶ月**

回答書読むとチャレンジばかりだけど

黒字化達成したのにこれか!

＋5万円

支給日(予定)　6月27日

黒字化や物価上昇、会社施策の取り組みに報いていない回答だ!
本部は緊急再申し入れを行う!

本部アンケートを取り組み職場の声をぶつけよう!!

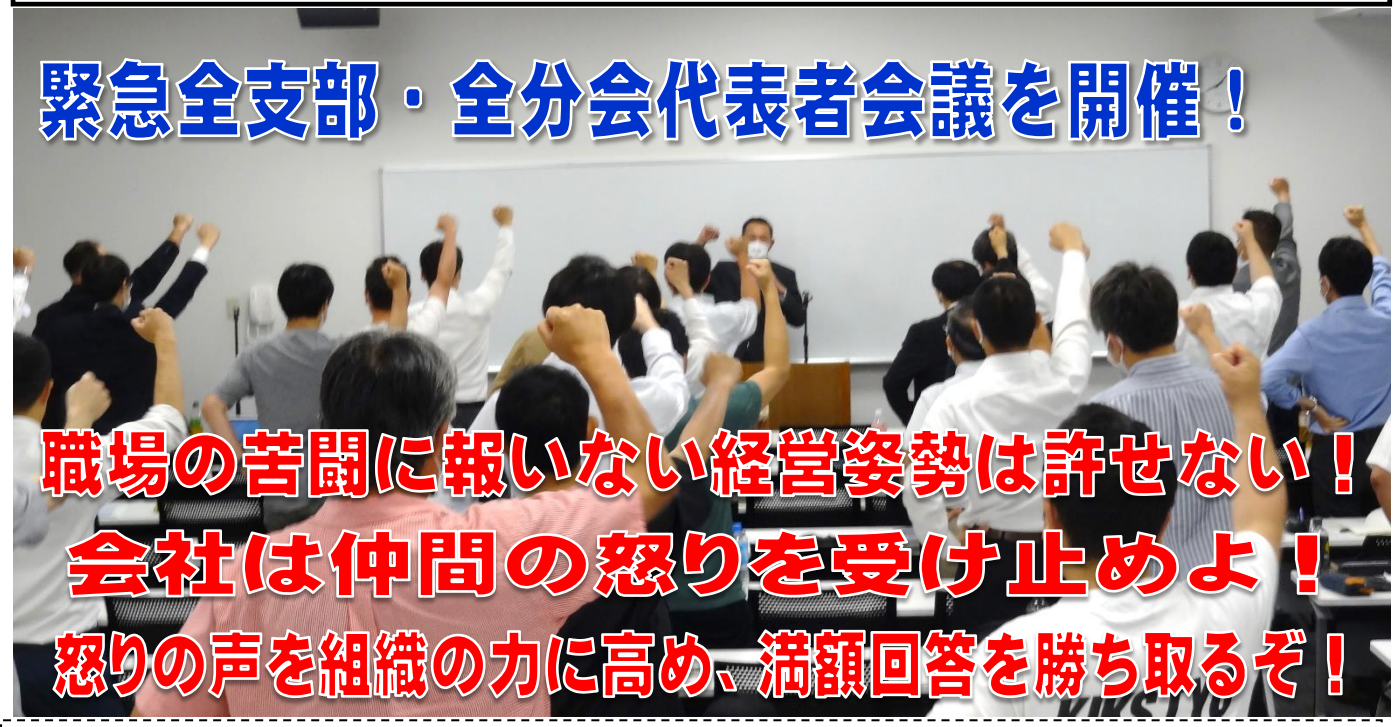
QRコードをスキャン!
もしくは・・・
ここをタップまたはクリック！

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

本当にこのような会社回答に納得感がありますか!?
怒りの職場の声を集め、本部と共に再申し入れ交渉をたたかおう!

ŌMIYA NEWS

No.250　2023年6月7日　JR東労組大宮地本



6月7日、夏季手当の会社回答を受け、レイボックホールにおいて緊急全支部・全分会代表者会議を開催し、申13号交渉の報告を行いました。緊急にもかかわらず多くの仲間が結集し、会社回答に対する怒りの声が多く出されました。

集会では本部より交渉経過や会社回答の報告を頂き、**第2回交渉に向けて7300件を超える職場の声を基に会社と議論した。日本一の赤字から3期ぶりの黒字転換を果たしたのはコストダウンも含めた尽力であることなどを一致してきた。しかし会社は「目標未達」「楽観できない」「新たな定常状態＝定期収入が9割しか戻らない」等の回答を繰り返した。これが「最大限の回答」と言うなら到底納得できない事から、席上妥結できないと通告。本日の全地本代表者会議を経て、再申し入れを行った**事が語られました。

参加者からは**「到底納得できる回答ではない」「会社に期待しなかった分こんなものかと感じた」「最初、＋5万円は労組として要求した成果と感じていたが、回答書を見てそうではないと思った」**などの率直な本音や、職場の組合員・未加入者・社友会からの**『少ない』『社友会の2．48ヶ月なんて聞いたことがない』『（未加入者アンケートの回答で）最低でも2．8か月』**などの怒りの声が出されました。また**「コストダウンを行った苦労に対し、この回答では納得いかない」「株主配当や役員報酬はコロナ前に戻りつつあるのに、私たちの収入は戻らない」「回答書の中で感謝の言葉は3行しかない」**など、働く者への苦労に報いない会社姿勢に対する怒りも多く語られました。

このままでは黒字基調となってもコロナ前の支給水準に戻らないことが「新たな定常状態」になりかねません。職場の苦闘に報いない経営姿勢や、豊田運輸区や宇都宮運輸区で明らかになった人間破壊を行う会社姿勢を許さないため、「再申し入れのたたかい」を創り出すため職場の声を本部に届け、アンケートや檄 FAX などを展開していくことを意思統一しました！

社員を大切にしない会社姿勢は許さない！

職場で出た怒りの声を「再申し入れのたたかい」に繋げ、満額回答を実現し、組織強化・拡大を勝ち取ろう！

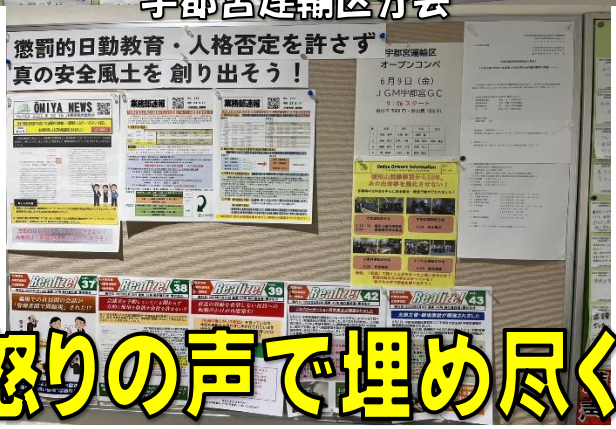
ŌMIYA NEWS

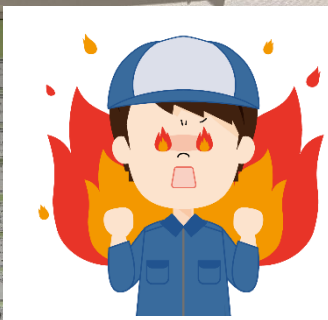
No.251　2023年6月9日　JR東労組大宮地本

私たちが納得できる回答を職場から求めるぞ！

【6月9日「緊急再申し入れ交渉」に向けて職場でたたかいを展開中】

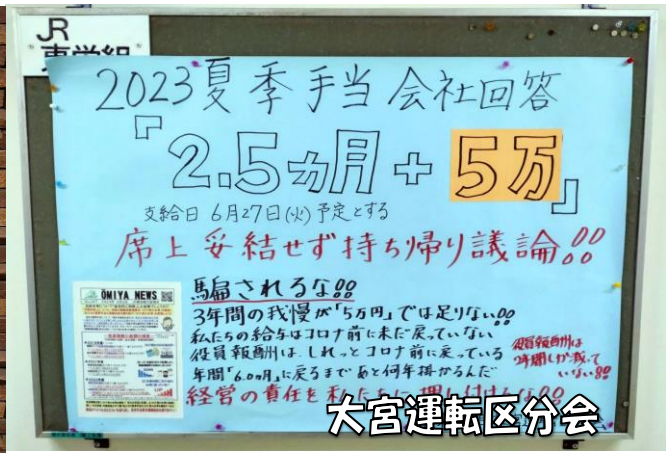
宇都宮運輸区分会





掲示板が怒りの声で埋め尽くされる！

大宮総合車両センター支部



大宮運転区分会

再申し入れのたたかいを職場から推し進めるぞ！

ŌMIYA NEWS

No.252　2023年6月9日　JR東労組大宮地本

組合員・未加入者は怒っている！

夏季手当 2.5ヶ月＋5万円の回答に怒り!!

～とある職場における組合員・未加入者の声（抜粋）～

去年より上がってても、物価上昇や
値上げラッシュで実質マイナス!

少ない!ベアも低額・手当も低額で、
チャレンジと言われても「ハイハイ」って感じ

しょぼい！
2.7ヶ月は
期待していた

出たという感じは持てない！
社員のやる気を
出そうとする気はあるのか！

渋い!黒字になって
期末手当が業績連動で
戻らないのは納得いかない！

物価は上昇しているのに、
この額は納得いかない！
しかも役員報酬は上がっている。

微妙・・・

昨年よりは伸びてるが微妙なところ

絶妙な数字、でももっと欲しい。

出た方だけど
黒字考えると少ない。

なんと!! う～ん…

職場の組合員・未加入者に聞くと、全員から怒りや困惑の声が出ました！

でも、とある職場の事務所ミーティングで話された、
職場長と副長の会話は…

少しだけど
段々上がってきて
良かった

良かった
です

本当にそう思いますか？

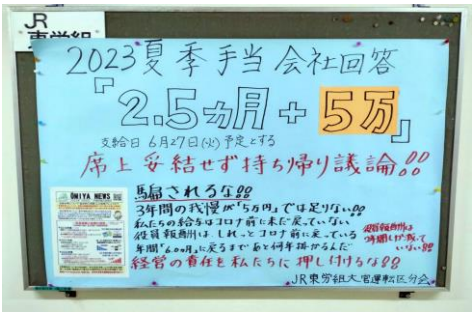
**6月9日は再申し入れ交渉！
私たちが納得いく回答を
職場のたたかいで求めるぞ！**

ŌMIYA NEWS

No.254　2023年6月11日　JR東労組大宮地本

申15号「コロナ禍を乗り越え3期ぶりに黒字転換した努力に報い、組合員・社員と家族が安心して生活できる環境の実現を目指す2023年度夏季手当等に関する緊急再申し入れ」

基準内賃金の 2.5ヵ月＋5万円 苦渋の判断として妥結！



私たちは厳しい労働実感・生活実感と黒字転換を実現した職場の努力を訴え、夏季手当満額回答を強く求めて職場からたたかいを展開してきました！

各職場で職場集会や総対話を連日開催し、仲間の声を形にして示し、掲示板は会社姿勢への怒りの声で埋め尽くされました。本部アンケートにも非組合員も含めて多くの声を届け、再申し入れ以降もたたかいを継続し、多くの仲間が結集して共にたたかいを担いました。

会社は「最大限の回答であり最終回答」を繰り返すばかりで、悔しくも要求実現には至りませんでしたが、職場で労働実感・生活実感を出し合い、会社の経営姿勢の問題点を明らかにし、労働組合の存在意義や組織強化・拡大について議論を創り出したことは大きな成果です!

会社回答への怒りをバネにさらなる組織強化拡大を実現し、労働実感に見合う期末手当の水準を取り戻し、職場の努力に報いない経営姿勢を許さず、さらなるたたかいを創り出そう！